

令和3年度

 愛知県西尾市

学校安全総合支援事業 活動報告

守ろう、
支えよう、
大好きな故郷

ふるさと

西尾市 危機管理局 危機管理課
Crisis Management Section



ぼうさいくん

西尾市の概要

西尾市の位置

人口：170,861人（R4.1.1現在）

名古屋市の南東約35Km



※平成23年4月1日に一色町・吉良町・幡豆町と合併しました。

まーちゃ

西尾市の概要



抹茶



カーネーション



うなぎ



えびせんべい



大提灯



祇園祭



火祭り



あじさいロード



吉良ワイキキビーチ

事業の名称について



近年、全国各地で災害が発生…



守ろう、
支えよう、
大好きな故郷 ふるさと

事業の目標

- ① 児童生徒が、地震津波、洪水など風水害に対する正しい知識を身につけるとともに、災害発生時には防災リーダーとして積極的に活動できることを目指す。
- ② 児童生徒が、取り組んだ成果等を外部に発信していくことで学校間・地域間の防災に対する意識の差の解消を目指す。
- ③ 中核教員（防災担当教員）を通して、拠点校を中心としたモデル地域内での取組を共有するとともに、中核教員の資質能力の向上を目指す。

南海トラフ地震で想定される西尾市の被害

最大震度 : 震度**7**

最大津波高 : **4.6m**
【佐久島 : **5.6m**】

津波到達時間 : **53分**
(津波高30cm) 【佐久島 : **41分**】

浸水面積 : **5,172ha** (市域の約3分の1)
(浸水深1cm以上,海岸堤防の高さが75%沈下した場合)



過去地震最大モデル被害想定 (他市と比較すると)

| | 最大震度 | 最大津波高 (m) | 津波到達時間 (分) | 浸水面積 (㎡) | 死者数 (人) | 全壊建物数 (棟) |
|------------|----------|------------------------------|----------------------------|-------------------|-------------------|--------------------|
| 西尾市 | 7 | 4.6 佐久島 5.6 | 53 佐久島 41 | 5,172 ② | 1,800 ① | 15,000 ② |
| 名古屋市 | 6強 | 3.3 | 103 | 5,740 | 1,500 | 20,000 |
| 豊橋市 | 6強 | 7.6 | 9 | 2,115 | 400 | 9,000 |
| 田原市 | 7 | 10.2 | 12 | 1,931 | 300 | 5,200 |
| 知多市 | 6強 | 3.1 | 76 | 47 | 30 | 700 |
| 碧南市 | 7 | 3.5 | 57 | 1,071 | 300 | 5,200 |
| 蒲郡市 | 7 | 3.6 | 59 | 131 | 90 | 1,500 |

揺れやすさ(震度)

- 震度7
- 震度6強
- 震度6弱

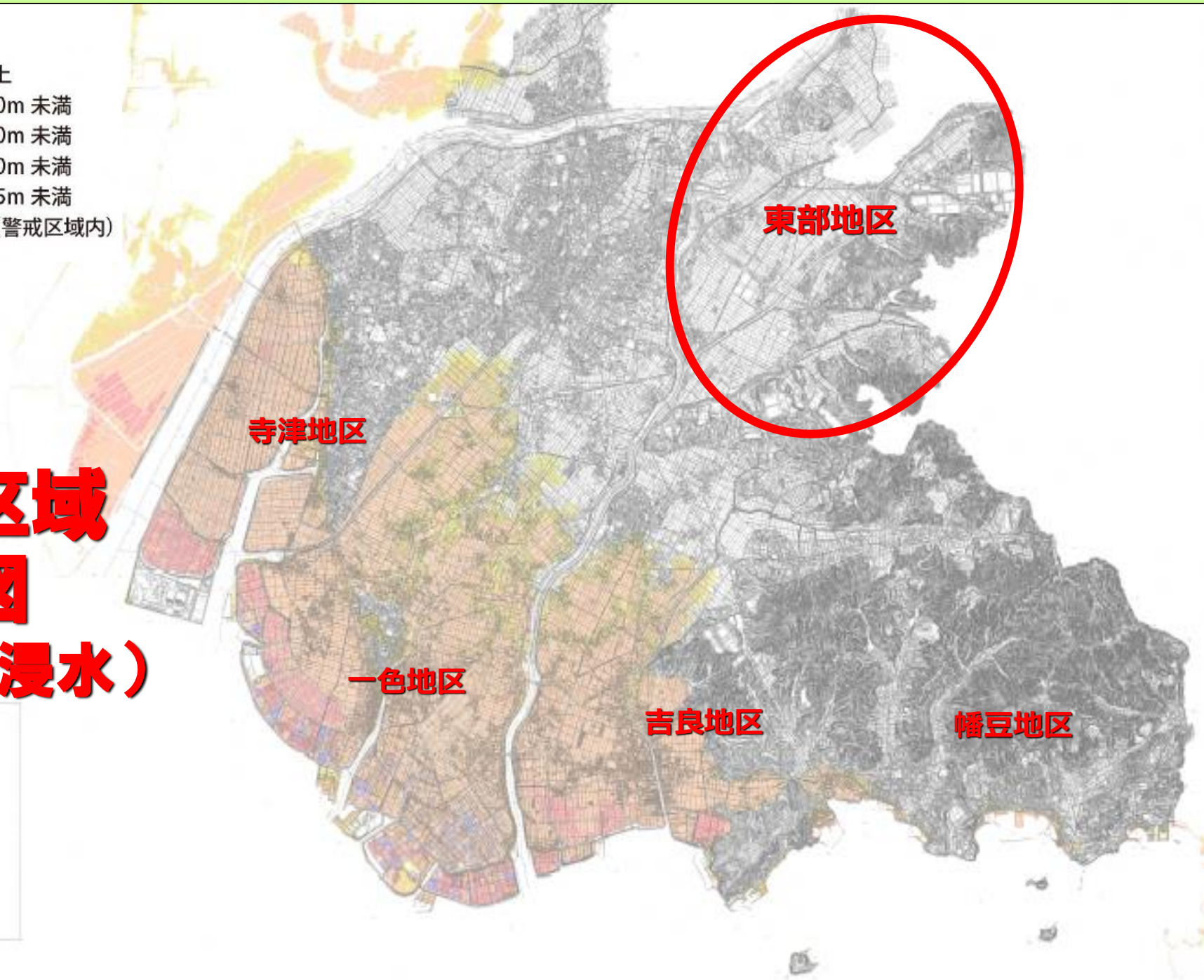


南海トラフ地震で想定される西尾市の

基準水位

- 5.0m 以上
- 3.0 ~ 5.0m 未満
- 1.0 ~ 3.0m 未満
- 0.5 ~ 1.0m 未満
- 0.1 ~ 0.5m 未満
- 池沼等 (警戒区域内)

**津波浸水想定区域
西尾市全体図
(市域の約3分の1が浸水)**



東部地区

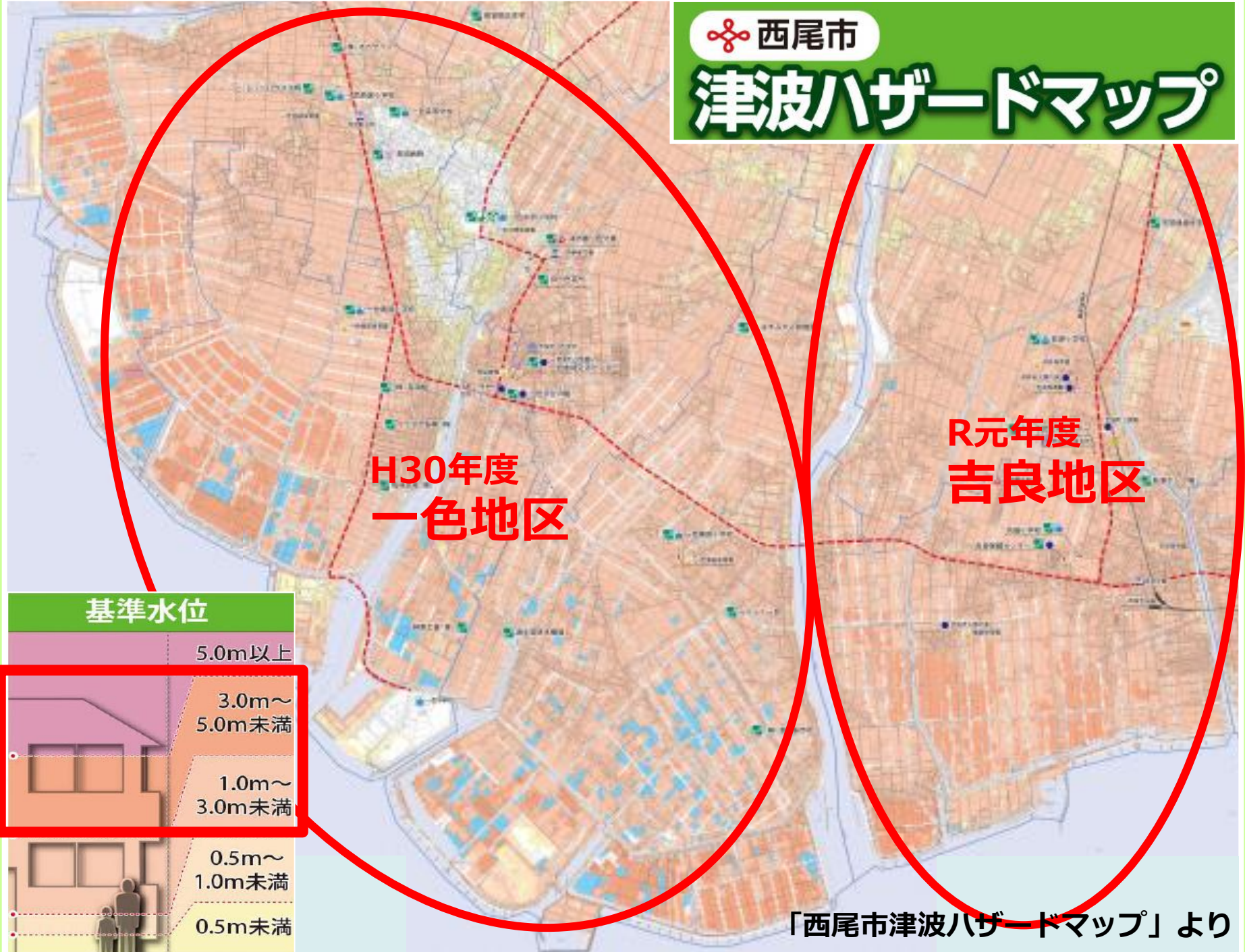
寺津地区

一色地区

吉良地区

幡豆地区

西尾市
津波ハザードマップ



「西尾市津波ハザードマップ」より

西尾市

津波ハザードマップ

「西尾市津波ハザードマップ」より

R2年度
寺津地区

基準水位

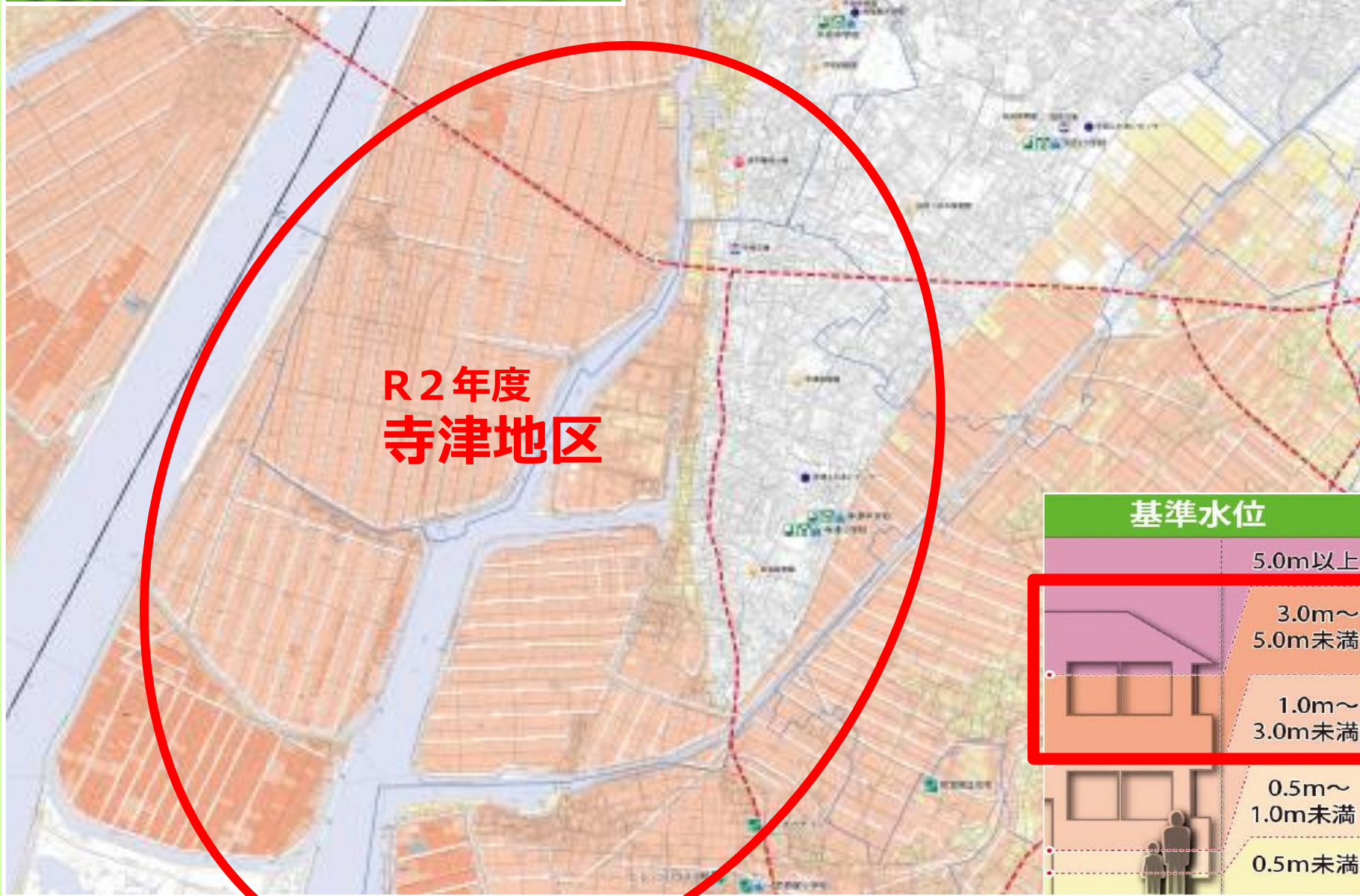
5.0m以上

3.0m～
5.0m未満

1.0m～
3.0m未満

0.5m～
1.0m未満

0.5m未満



西尾市

津波ハザードマップ

「西尾市津波ハザードマップ」より

R3年度
東部地区

モデル地域の被害想定

基準水位

5.0m以上

3.0m～
5.0m未満

1.0m～
3.0m未満

0.5m～
1.0m未満

0.5m未満



西尾市
洪水ハザードマップ
④三和・室場地区

「西尾市洪水ハザードマップ」より



モデル地域の被害想定

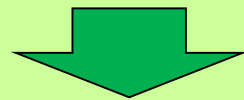
モデル地域の設定

風水害被害が危惧されている東部地区

(H30年度 **一色地区**、R元年度 **吉良地区**、R2年度 **寺津地区**)

防災リーダー育成の視点から

拠点校 **西尾市立東部中学校**



**中核教員（防災担当教員）を通して
東部地区全域へ取組を広める**

実践委員会の設置

会場：西尾市役所 防災会議室



自主防災会連絡協議会長、警察、消防等を含む
16名からなる実践委員会（年3回）

名古屋市港防災センター

近藤ひろ子 防災教育アドバイザー



[学校概要](#)

[学校経営方針](#)

[校長室便り 青空](#)

[R3年度行事予定](#)

[校歌](#)

[アクセス](#)

[ブログ](#)



1年生 3クラス (99名)

2年生 3クラス (113名)

3年生 3クラス (96名)

合計 308名

【モデル地域での取組】

危機管理課職員による防災講話



令和3年5月19日、24日、6月4日
参加者：室場小4年生、東部中1年生、三和小6年生

危機管理課職員による防災講話

≪児童の感想≫

「今日のお話から、**地震や津波と洪水では避難所が違う**ことを知りました。」

「**地震津波**については聞いたことがありましたが、**洪水の危険について初めて知りました**。この地区が洪水の危険あることを知り、**洪水についてしっかり学ぶ必要がある**と感じました。」

「まずは『自助』で、**自分の命は自分で守れるようにしたい**と思いました。そのために防災訓練は大切だと感じました。訓練で学んだことを生かしたり、**ハザードマップを見て避難ができるようにしたり**することで命を守りたいです。」

危機管理課職員による防災講話

≪生徒の感想≫

「講話から、地震や洪水などの自然災害が近くまで迫ってきていることがわかりました。災害に対する備えの大切さを知り、すぐに準備したいと思いました。」

「地震は今日起きるかもしれない、明日かもしれないと思うととても怖いです。自分や家族の命を守るために、今できることを考え備えていきたいです。」

「南海トラフ地震による津波で、愛知県で1番死者数の多いのが西尾市だと聞いて驚きました。今日のお話から、特に洪水は、他人事ではなく、自分たちの問題であると感じました。」

【モデル地域での取組】

近藤ひろ子防災教育アドバイザーによる防災講話



令和3年7月5日、8日、12日
参加者：室場小4年生、東部中1年生、三和小6年生、実践委員

近藤ひろ子防災教育アドバイザーによる防災講話

≪児童の感想≫

「防災は『命を守る』『みんなと一緒に生き延びる』ことが大切だと学びました。そのために、**日ごろから自分の周りの人たちにあいさつをすると、いざというときに助け合える関係になることもわかりました。**」

「『家具の固定』『備蓄品や非常持出袋の準備』など、今日学んだことを家族に伝えようと思います。また、**実際に物を備えたり、家中の家具を点検したりして、倒れてこないようにしておきたいです。**」

近藤ひろ子防災教育アドバイザーによる防災講話

≪生徒の感想≫

「家の家具をチェックするのに合言葉『う・た・お』の『うごかない』『たおれない』『おちてこない』が大切だということを知りました。

「お話を聞いて、災害時にも中学生が地域の大きな力になれると思いました。どんな小さなことでもベストをつくして力になりたいと思いました。」

「私は、災害が起きたらネガティブにならないで、みんなのために自分ができていることを考えて、あせらず、あわてず、最大限の力を発揮できるようにしたいです。」

【モデル地域での取組】

災害クッキング講座

名古屋文化短期大学
山田実加 教授



令和3年10月11日（月）
参加者：東部中1年生、実践委員、危機管理課

災害クッキング講座

名古屋文化短期大学
山田実加 教授

≪生徒の感想≫

「家にあるものを工夫することで、電気やガスコンロを使わなくても料理ができることがわかりました。災害はいつ起きてもおかしくないなので、今回学んだことを、家族に伝えたり家でも作ったりしたいです。」

「カセットコンロやカセットボンベ、高密度のポリ袋を備蓄しておくことで、いろいろな場面で役立つことを知りました。自分の家でも備えておきたいです。また、災害が起きたときには、家族のために作ったり、他の人に作り方を教えてあげたりすることで『守られる側から守る側』になりたいです。」



和風の蒸しケーキ

【モデル地域での取組】

防災講演会

名古屋地方気象台

若杉栄一 気象防災情報調整官

「自然災害から身を守るために知っておくこと」

「西尾市 東部中学校 出前講座」

自然災害から身を守るために 知っておくこと

■ 本日のお話

1. 住んでいる所を知る
2. 天気図を読む
3. 気象情報と避難情報
4. 地震・津波について

令和3年10月19日

名古屋地方気象台 気象防災情報調整官 若杉 栄一

気象庁 1



講話の様子



講話の様子

令和3年10月19日
参加者：東部中1年生、実践委員

防災講演会

名古屋地方気象台

若杉栄一 気象防災情報調整官

≪生徒の感想≫

「台風などの風水害は事前に知ることができるので、ニュースなどで情報収集して、『最悪の事態を防ぐ準備』をすることが大切だとわかりました。」

「『天気図の見方』『気象情報の読み方』などを知ることができたので、いざというときのために、日々の天気予報をしっかりと見聞きすることで備えたいです。」

「自然災害に対して、事前の準備がとても大切だということをあらためて学ぶことができました。非常持出袋は自分の家で備えていないので、すぐに準備できるようにしたいです。」

【モデル地域での取組】

防災講座「救出救護技術」



令和3年10月19日

参加者：東部中1年生、実践委員、消防、危機管理課

【モデル地域での取組】

防災講座「救出救護技術」



令和3年10月19日
参加者：東部中1年生、実践委員、消防、危機管理課

【モデル地域での取組】

防災講座 「避難所簡易グッズ作り」



令和3年10月19日

参加者：東部中1年生、実践委員、消防、危機管理課

防災講座

≪生徒の感想≫

「『ロープ結索』では、建物や樹木の下敷きになった人がいたら**他の人と協力して救助できるよ**うに、**何度も復習したい**です。また、担架がない場合にも、**身近にあるものを工夫することで、人を安全に運べる**ことがわかりました。」

「『スリッパ作り』では、避難所で素足のまま歩きまわることとはとても危険だと学びました。**たかが新聞紙ですが、何枚か重ねることでケガの予防になる**ことがわかりました。」



コップ・スリッパ

【モデル地域での取組】

「風水害タイムライン」学習

東部中 1 年生



風水害タイムライン

～命を守るために今できること～

令和3年11月11日 (木)

西尾市危機管理課

Crisis Management Section



ぼうさいくん

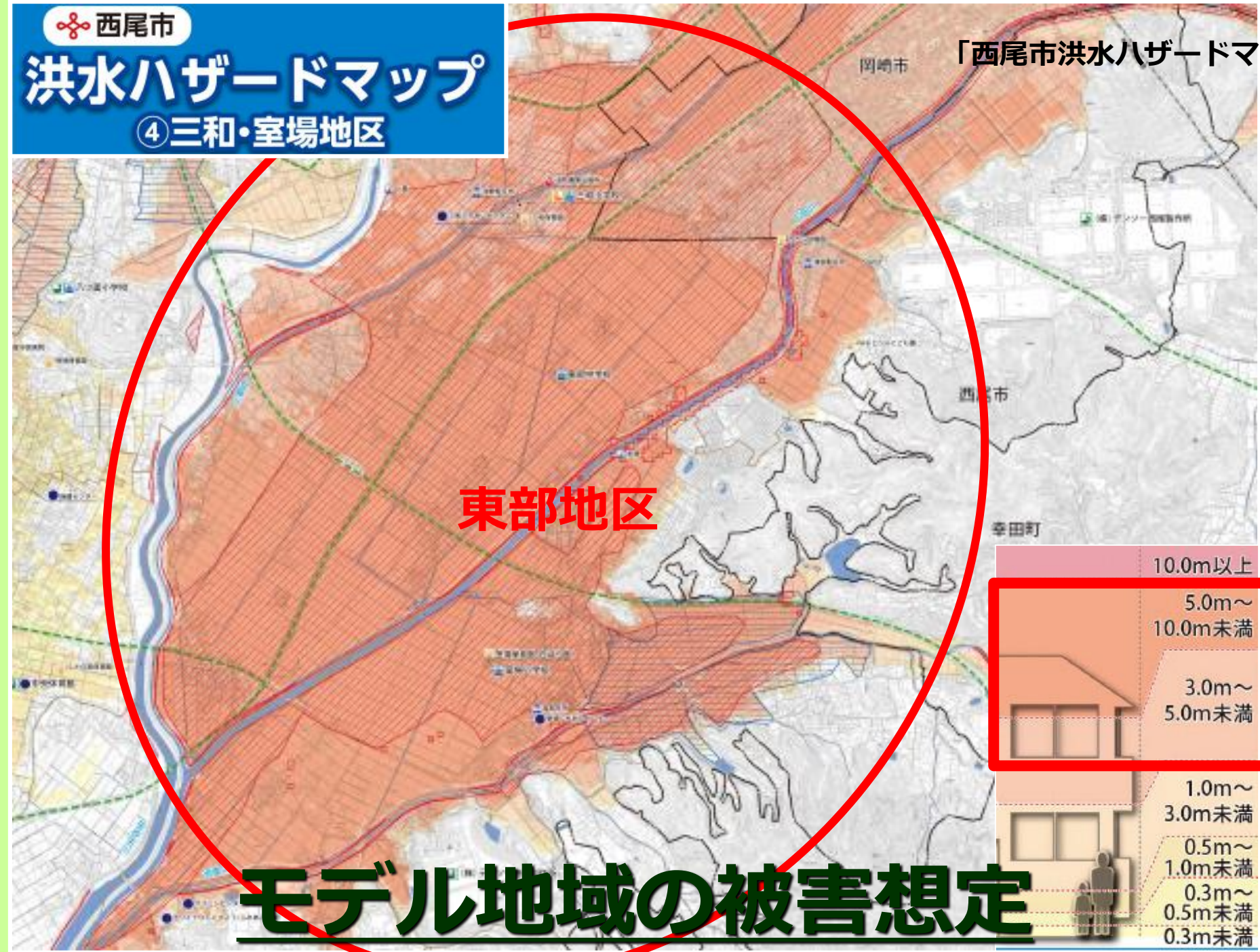
台風や大雨、洪水など事前に予測できる風水害に対し「いつ」「だれが」「何をするのか」を「防災行動計画（タイムライン）」として**家族で相談しながら決めておく**ことで発災時の避難に備える。

令和3年11月11日

参加者：東部中1年生、危機管理課

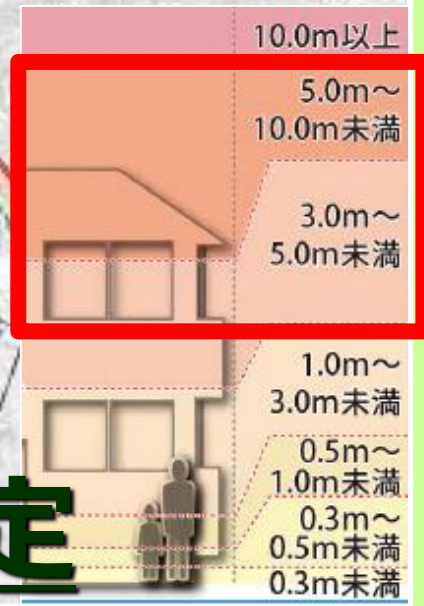
西尾市
洪水ハザードマップ
④三和・室場地区

「西尾市洪水ハザードマップ」より



東部地区

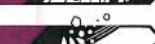
モデル地域の被害想定



【モデル地域での取組】

「風水害タイムライン」学習



| 防災タイムライン〈避難行動計画表〉 | | 台風 | |  みんなで一緒に考えてみよう! | |
|--|-------------------------|---|---------------------|--|---|
| 時間 | 3日前 | 1日前 | 12時間前 | 6時間前 | |
| 警戒レベル | LEVEL 1 今後気象状況悪化のおそれ | LEVEL 2 気象状況悪化 | LEVEL 3 災害のおそれあり | LEVEL 4 災害のおそれ高い | LEVEL 5 災害発生または切迫 |
| 避難情報等 | 〈気象庁等が発表する情報を確認〉 | | 高齢者等避難 【市町村発令】 | 避難指示 【市町村発令】 | 緊急安全確保 【市町村発令】 |
| 防災 気象情報 <small>(警戒レベル相当情報)</small> | 雨 | 大雨注意報・洪水注意報 | 大雨警報・洪水警報 | |  |
| | 風 | 強風注意報 | | 暴風警報 |  |
| | 川 | 氾濫注意情報 <small>※氾濫情報が発表されない河川では洪水警報・大雨警報の危険度分帯を見ながら危険度を確認</small> | 氾濫警戒情報・洪水警報 | 氾濫危険情報(洪水警報) |  |
| | 高潮 | 高潮注意報 | (警報に切り替える可能性の高い注意報) | 高潮警報・高潮特別警報 |  |
| | 土砂 | | 大雨警報 | 土砂災害警戒情報 |  |
| 行動 | | | | | |
| | | | | | <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"><p>避難する場所</p><p>Check!</p><ul style="list-style-type: none"><input type="checkbox"/> 避難ルートを確認したか<input type="checkbox"/> 避難方法を確認したか<input type="checkbox"/> 持ちていくものを確認したか</div> |

【モデル地域での取組】

「風水害タイムライン」学習



「タイムライン」作成について危機管理課職員による講話

クラスで 担任による説明

各家庭に持ち帰り 家族で相談・考案

クラスで発表・助言・改善

再度 各家庭に持ち帰り 家族で相談・考案

完成・各家庭で保管

【モデル地域での取組】

「風水害タイムライン」学習



危機管理課職員による講話



担任による説明

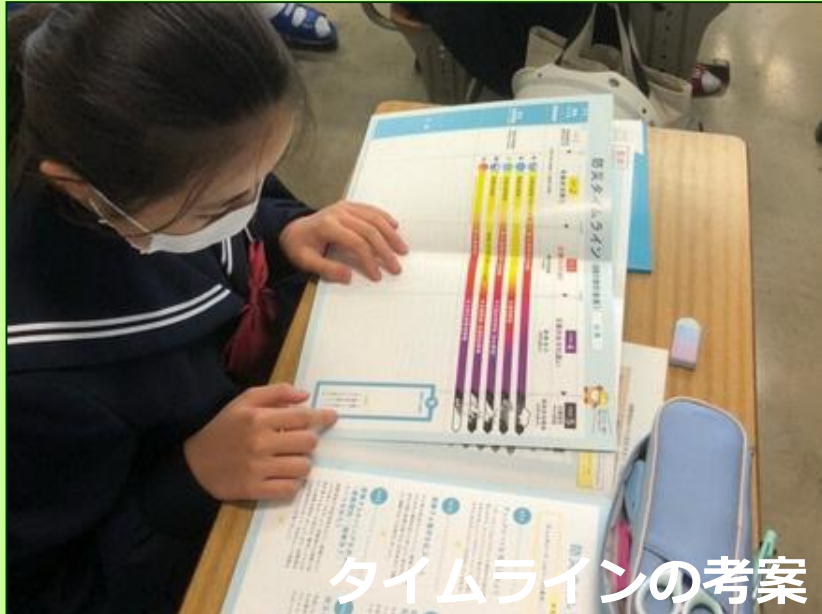


担任自身のタイムライン

令和3年11月11日
参加者：東部中1年生、危機管理課

【モデル地域での取組】

「風水害タイムライン」学習



令和3年11月11日
参加者：東部中1年生、危機管理課

【モデル地域での取組】

「風水害タイムライン」学習

防災タイムライン〈避難行動計画表〉 台風

みんなで一緒に考えてみよう!

| 時間 | 3日前 | 1日前 | 12時間前 | 6時間前 | |
|--------------------------|-------------------------|-------------------|---------------------|---------------------|----------------------|
| 警戒レベル | LEVEL 1 今後気象状況悪化のおそれ | LEVEL 2 気象状況悪化 | LEVEL 3 災害のおそれあり | LEVEL 4 災害のおそれ高い | LEVEL 5 災害発生または切迫 |
| 避難情報等 | 〈気象庁等が発表する情報を確認〉 | | 高齢者等避難 [市町村発令] | 避難指示 [市町村発令] | 緊急安全確保 [市町村発令] |
| 防災 気象情報 (警戒レベル別発令) | 雨 | 大雨注意報・洪水注意報 | 大雨警報・洪水警報 | 暴風警報 | |
| | 風 | 強風注意報 | 暴風警報 | | |
| | 川 | 氾濫注意情報 | 氾濫警戒情報・洪水警報 | 氾濫危険情報(洪水警報) | |
| | 高潮 | 高潮注意報 | (警報に切り替える可能性の高い注意報) | 高潮警報・高潮特別警報 | |
| | 土砂 | | 大雨警報 | 土砂災害警戒情報 | |

行動

母 気象情報を入力
父 祖父 自動車の給油
父 祖父 非常用持ち出し袋の確認不足
私 照明の準備
父 祖父 家周りの物置片付ける
父 避難場所避難ルートの確認
母 祖父 戸締りの確認
父 祖父 河川の水位をチェック
私 携帯電話を充電
父 祖父 常用している薬を持ち出すようにする

祖父 田畑や水路へ行くのせいで
全員 避難のための着替え
全員 自宅内の安全な所へ移動
母 祖父 避難情報を確認
父 祖父 避難開始
父 祖父 避難完了

避難する場所
総合体育館

Check!

- 避難場所を確認したか
- 避難経路を確認したか
- 避難準備が完了したか
- 避難完了したか

〇この防災タイムラインは、基本的な取組を提示して示したもので、時間や各種の情報が異なるタイムラインは気象状況等によって異なる場合があります。

防災タイムライン〈避難行動計画表〉 台風

みんなで一緒に考えてみよう!

| 時間 | 3日前 | 1日前 | 12時間前 | 6時間前 | |
|--------------------------|-------------------------|-------------------|---------------------|---------------------|----------------------|
| 警戒レベル | LEVEL 1 今後気象状況悪化のおそれ | LEVEL 2 気象状況悪化 | LEVEL 3 災害のおそれあり | LEVEL 4 災害のおそれ高い | LEVEL 5 災害発生または切迫 |
| 避難情報等 | 〈気象庁等が発表する情報を確認〉 | | 高齢者等避難 [市町村発令] | 避難指示 [市町村発令] | 緊急安全確保 [市町村発令] |
| 防災 気象情報 (警戒レベル別発令) | 雨 | 大雨注意報・洪水注意報 | 大雨警報・洪水警報 | 暴風警報 | |
| | 風 | 強風注意報 | 暴風警報 | | |
| | 川 | 氾濫注意情報 | 氾濫警戒情報・洪水警報 | 氾濫危険情報(洪水警報) | |
| | 高潮 | 高潮注意報 | (警報に切り替える可能性の高い注意報) | 高潮警報・高潮特別警報 | |
| | 土砂 | | 大雨警報 | 土砂災害警戒情報 | |

行動

千絵 エレキの充電確認
千絵 避難場所へ行く準備
千絵 周囲の人に呼びかける準備
家族 非常用持ち出し袋の準備
千絵 避難情報確認
千絵 避難開始
千絵 避難完了

父 祖父 避難情報を確認
父 祖父 避難開始
父 祖父 避難完了

避難する場所
宝島小学校

Check!

- 避難場所を確認したか
- 避難経路を確認したか
- 避難準備が完了したか
- 避難完了したか

〇この防災タイムラインは、基本的な取組を提示して示したもので、時間や各種の情報が異なるタイムラインは気象状況等によって異なる場合があります。

「風水害タイムライン」学習

≪生徒の感想≫

「タイムラインを家族で作成して、いつ、誰が、どんな状況で、何をすればよいのか、頭の中を整理することができました。実際に災害が起きたときには、タイムライン通りにはいかなかったり、できなかつたりするかもしれませんが、目の前の状況に合わせて臨機応変に行動できるようにしたいです。」

「家族で相談したことで、中学生の僕にもできることがあることがわかりました。家族の中での役割についても、性別や年齢によってふさわしいものがあるなど、事前に考えたことで、新たな発見がたくさんありました。」

【モデル地域での取組】

モデル地域 小中合同防災学習

「東部中1年生」から「三和小6年生」へ



令和3年12月1日

参加者：東部中1年生、三和小6年生、室場小4年生、実践委員

【モデル地域での取組】

モデル地域 小中合同防災学習

「東部中1年生」から「室場小4年生」へ



令和3年12月1日

参加者：東部中1年生、三和小6年生、室場小4年生、実践委員

モデル地域 小中合同防災学習

≪児童の感想≫

「新聞紙や広告など捨てずに保管しておくことでいざという時に使えることがわかりました。家にあるものの中に災害時に使えるものがあると思うので、家族で考えてみたいです。」

「今日、中学生に教えてもらったことを1から3年生の子に教えてあげたいです。いろいろな子が作れるようになることでいざという時に助かると思います。」

モデル地域 小中合同防災学習

≪生徒の感想≫

「自分だけがわかっていてもそれを正しく伝えなければ、いざというときに役に立たない！と教えていて実感しました。一緒に作ってあげながら、分かりやすい言葉で説明したことで小学生の子にも理解してもらえたと思います。」

「私たちが伝えたことよって、たくさんの人に作り方などを知ってもらえたので、災害時に『守る側』になれる人が増えたと思います。今回のように、地域の人などにも伝えられる機会を作りたいと思いました。」

【モデル地域での取組】

「防災マップ」作り



令和3年12月15日
参加者：室場小4年生、危機管理課

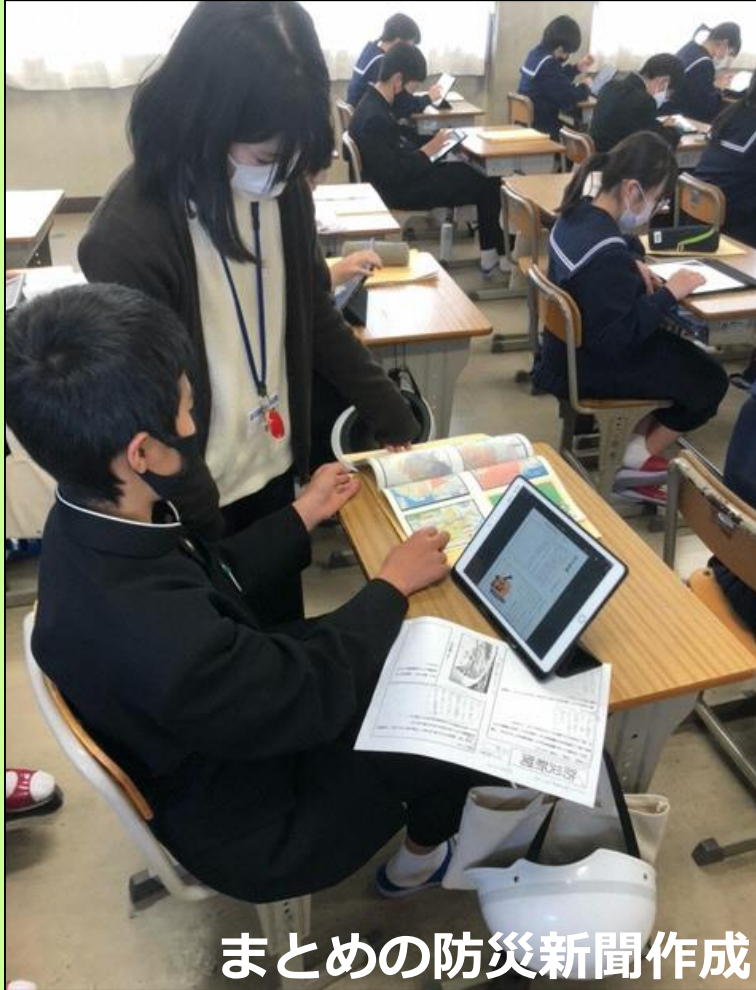
「防災マップ」作り

≪児童の感想≫

「防災について真剣に考えることが一番大切だと感じました。通学路に危ないブロック塀がいくつもありました。マップにのせることで地域の人にも知ってもらいたいです。」

「『もし災害が起きたら』をみんなで考えておけば、実際に起きた時に役立つと思いました。危ない場所、安全な場所、防災倉庫、避難所などいざという時に多くの人を助かるためにわかりやすくマップにのせることが大切だと思います。」

防災学習を振り返って



まとめの防災新聞作成

目ざせ防災リーダー

みなさん、洪水って怖いですよね。「洪水ってなんで起きやすい所があるんだろう？」という疑問を僕が調べてみました！なぜなるかを説明します。まず、洪水というのは水が流れてきて、低い所に水が集まってくるんです。その時に水が流れてくる所がコンクリートやアスファルトだと、地面に吸収されずにすぐに水が低い所へ集まってきてしまいます。しかし、最近では、土も残して置くといい所も大事なんです。また、森林伐採などの環境破壊も関わっています。森林や山は緑のダムと呼ばれ、雨の水を調節する役割を持っています。しかし、先程と同じように最近では環境破壊が増加しています。この2つが主な理由になって、洪水が起きやすくなっているのです。国を発展させる事も大切ですが、緑を守る事も大切だと知りました。

発展と洪水

「洪水ってなんで起きやすい所があるんだろう？」という疑問を僕が調べてみました！なぜなるかを説明します。まず、洪水というのは水が流れてきて、低い所に水が集まってくるんです。その時に水が流れてくる所がコンクリートやアスファルトだと、地面に吸収されずにすぐに水が低い所へ集まってきてしまいます。しかし、最近では、土も残して置くといい所も大事なんです。また、森林伐採などの環境破壊も関わっています。森林や山は緑のダムと呼ばれ、雨の水を調節する役割を持っています。しかし、先程と同じように最近では環境破壊が増加しています。この2つが主な理由になって、洪水が起きやすくなっているのです。国を発展させる事も大切ですが、緑を守る事も大切だと知りました。



災害時の行動

僕は地域の人たちに災害時、何をすればいいか知って欲しいです。なぜ、これを知って欲しいかというと、命が一番大切だからです。荷物の準備なども結局、生死に関わりますが、避難というのは、そのまま生死に直結してきます。荷物を準備していても、生きることができなければ準備も無駄になります。なので、災害時の行動が大切なのだと思います。災害時の行動も災害の種類によって変わってきます。覚えておくだけでも、避難訓練などをして、活用できるようにして欲しいです。



防災新聞

楽しく美味しく防災クッキング！

災害が来た時、満足な料理が食べられませんか？そんな時は・・・防災クッキング！僕たちは災害クッキングで、カレーや牛丼を作りました。（えっ、カレー？）と思うかもしれませんが、全然問題ありません。理由は準備するものがクッキングキットだけだからです。すぐコンパクトでたくさん買い貯めておけます。さらにとっても、美味しいです。他にもデザートを作りました。結構好き嫌いが分かれたデザートでしたが僕は結構好きでした。そのデザートというのは、和風の蒸しケーキです。簡単に作れるし、材料もそれほど必要ないので、便利ですね。さらに、料理は作るだけで楽しく思えて、災害時の暗い雰囲気を打ち消します。楽しいし、作って食べるのも美味しいし、一石二鳥です。



目ざせ防災リーダー

| 洪水深さ | 人口(標準) |
|--------|-------------|
| 20m | 235,122,209 |
| 10m | 96,123,201 |
| 5m | 38,145,143 |
| 3m | 25,183,183 |
| 0.5m | 25,216,192 |
| ～ 0.5m | 247,245,189 |



防災で大切な事

- 1つ目は「自助」です。自助の意味は、自分の命を自分で守ることです。自助の例として「シェイクアウト」という言葉があります。シェイクアウトは低い姿勢で、頭を守り、じっとするという意味です。
- 2つ目は「公助」です。公助の意味は、市役所や消防・警察・自衛隊などによる救助活動や支援物資の提供などのことです。
- 3つ目は「共助」です。共助の意味は、みんなで一緒に生き延びていくことです。共助の例として避難所での生活などがあります。私たちはこのような言葉をもとにいろいろな防災についてのことをきいたり調べたりしました。



危険な東部地区

私たちは大切な事や色々なことをふまえて防災の事について調べた結果、私たちの東部地区は洪水がとても危険だとわかりました。洪水は大雨や豪雨などで川や海が氾濫して起こります。東部地区の半分が洪水が起きた時に約6～10メートルの水が来ると予測されていることもわかりました。なのでいくらか川が地域にないとはいえ西尾市全体に洪水に被害が及ぶので日頃から洪水に興味を持つ、関心をつけるなどをして対策をした方がいいです。そんな対策方法の中で特に大切なのが避難場所の確認や場所の把握です。洪水がもし起きてしまった時にしっかりと避難場所にいけないものがあるかもしれないので必ずおこのいましょう。

地域の方に伝えたいこと

私が皆さんに伝えたいことは地域全体で「共助」をすることです。避難活動をしていて一人ではできない事や自分の家族だけではできない事などが出てくると思います。そのような時に地域全体が周りを見て困っている人、助けてほしい人などを助けたりすればできない事もできる事になってくると思うのでそういう時に地域全体で協力し合えば乗り越えられるとおもいます。そのために、日頃から協力していきましょう。

防災新聞

防災学習を振り返って

≪生徒の感想≫

「私が地域のみなさんにお伝えしたいことは、地域の『共助』についてです。避難活動では、一人ではできないこと、家族だけではできないことなど、多く出てくると思います。そのような時に、**地域全体で困っている人などを助けることで、できないことができることになっていく**と思います。」

「私たちが防災でできることは『防災についての情報を周りの人に伝えること』だと感じました。いつ起きてもおかしくない自然災害に対して、**一人でも多くの人に防災について学んだことを伝えていきたい**です。」

西尾市内の小中学校における防災学習



【西尾市内の小中学校における防災学習】



【西尾市内の小中学校における防災学習】



【西尾市内の小中学校における防災学習】



【西尾市内の小中学校における防災学習】



**市内全域で
「防災教育」**

中畑小5年生
防災マップ作り
**「防災活動」を
推進しています**



市内教職員・児童生徒
西尾市防災ステーション訓練見学



市内教職員
西尾市防災ステーション施設見学

事前・事後アンケートより

Q あなたの家では、災害時のために、備蓄品（物資や食料）を準備してありますか

| | 事業前 | | 事業後 |
|-------|-----|---|-----|
| あ　　る | 36% | ➡ | 71% |
| な　　い | 43% | ➡ | 18% |
| わからない | 21% | ➡ | 11% |

事前・事後アンケートより

Q 家族と地震や洪水などの自然災害について話し合うことはありますか

| | 事業前 | | 事業後 |
|--------|-----|---|-----|
| よくある | 2% | ➡ | 8% |
| たまにある | 35% | ➡ | 68% |
| ほとんどない | 63% | ➡ | 24% |

事前・事後アンケートより

Q 災害時にあなたにできることはありますか

| | 事業前 | 事業後 |
|----------|-----|-----|
| できることはある | 46% | 94% |

本事業の成果



様々な活動を通して「守られる側から守る側へ」という意識を高め、児童生徒が災害時においても「自分のできることをやっていきたい」「地域のために動きたい」という思いをもつことができた。

防災リーダーとして積極的に活動できる姿

児童生徒が地域の方と一緒に活動をしたり、児童生徒の学びを外部に発信したりすることで、家庭や地域全体の防災意識を向上させることができた。

防災意識の向上と、学校・地域の連携強化

今後の課題



学校・地域・行政の顔の見える関係づくり

共に活動する場や、災害時に備えた意見交換の場など、連携する場をいかに確保していくか。

防災教育の継続・発展

学校・地域の実情や、子どもたちの実態をとらえた上でより効果的な活動を検討していく必要がある。また、保護者・地域をこれまで以上に巻き込めるような活動を取り入れていく必要がある。さらに、津波浸水想定区域外の地域において、避難者を受け入れる体制づくりを進めていく必要がある。



**今後も、学校安全に係る取組を
さらに推進していきます！**



ご清聴ありがとうございました

「西尾の抹茶」の耳



ぼうサイくん



あんぜん



ちゅうい



きけん



令和3年度

 愛知県西尾市

学校安全総合支援事業 活動報告

守ろう、
支えよう、
大好きな故郷

ふるさと



ほうさいくん

西尾市 危機管理局 危機管理課

Crisis Management Section